

中学年の窓・2学期



広島県立歴史民俗資料館の田邊学芸員さん、稲村学芸員さんに、勾玉のつくり方を教わりました。島根県の玉造温泉は、勾玉を作った道具が多数出土していることから、その温泉の名前の由来となったことなどの興味あるお話を聞き、歴史に興味を持つ人も増えました。

児童感想の一部を紹介します。

A児～勾玉は熊の爪の形であると知りました。昔の人は熊の爪で作っていたのです。

B児～ちり紙で勾玉を磨くとピカピカになることに驚きました。びっくりしました。

C児～勾玉を削るのがたのしかったです。昔の人は、削るのに苦労したのだろうなと思いました。

D児～ヒスイの石は、富山県だけ取れるのが不思議でした。ヒスイの石を見抜く方法も知れてうれしかったです。

E児～ざらざらしていた勾玉が、ちり紙で磨くとつるつるとなったのが驚きました。

F児～勾玉を作ったことが無かったので、楽しみでした。作るのが、とても疲れました。

***アスファルトやコンクリートなどのような硬い場所に、勾玉を落とすと割れてしまうので、気を付けてください。**

